

東京ビッグサイトにはいつも「今」がある



久しぶりの見本市の期待が高まる西展示棟入口



## 電業足報 電業耳報 NO.17

# 近未来に持続可能な企業条件を求める人々が大挙入場！ 東京初開催「建設DX展」の熱気みる企業の暗中模索

取材・構成／本誌編集部

12月6日～8日にかけて、江東区の東京ビッグサイト・西展示棟で開催された「第1回建設DX展」(RX JAPAN主催)に行ってきた。

当日は「建設DX展」を中心に「スマートビルディングEXPO」「施設リノベーションEXPO」「不動産テックEXPO」が西展示棟1Fで、「商業施設・店舗DX展」「スマートハウスEXPO」「高性能建材・住設EXPO」が4Fで同時開催されていた。

「近年話題のDX(デジタルトランスフォーメーション)とは何か?」という基本的な興味を持っている人

はもちろん、実際に自社の実情に合ったDX化を図るには「何をどうすればいいのか?」という素朴な疑問を感じている人、もう一歩踏み込で「じゃあ、具体的に商品化されたハイテク技術にはどのようなものがあるのか?」「それを導入するには、どうすればいいのか?」といった焦慮にかられている人など、会場には「DX化」を模索するさまざまな立場の人々の熱気が渦巻いていた。

今週の「足報・耳報」では、その模様を「駆け足レポート」してみた。



入場口に詰めかけた参観者の波。入口で早くも期待に満ちた熱気が充満